

名古屋市観光客・宿泊客動向調査（平成19年度）概要版

1 調査の目的

名古屋市内の主要な観光施設等の入込状況及び宿泊施設の概要、宿泊客数の把握並びに名古屋市を訪れる観光客の目的や特性等を調査し、名古屋市の観光行政の基礎資料とすることを目的としています。

2 調査結果の概要

(1) 観光客の入込動向

【全国観光統計基準の採用】

愛・地球博開催を契機に平成17年度より、従来の調査観光地点に、行・祭事、イベント、スポーツ、音楽・演劇等の都市観光を中心とする新たな53の観光地点を加え、平成19年度については、84地点の観光入込客数を把握しました。

【観光入込客延べ人数】

観光地点（84地点）の平成19年度観光入込客延べ人数は5,617万人であり、平成18年度と比較して約300万人増加しました。

主な増加理由は、平成19年度に「名古屋港開港100周年」や「東山動植物園開園70周年」などの記念事業があり、市民中心に関心が高くなったことである。

■ 観光地点の分類別入込客数の推移

全国観光統計基準に基づく分類		平成17年度		平成18年度		平成19年度	
大分類	中分類	地点数	入込客延べ人数	地点数	入込客延べ人数	地点数	入込客延べ人数
学ぶ（見る・体験する）	自然						
	文化・歴史	26	19,577,602	25	19,246,422	25	21,075,363
	産業観光	6	1,821,014	7	2,003,055	6	1,917,028
遊ぶ（楽しむ・リフレッシュする）	スポーツ・レクリエーション施設	17	14,834,016	17	12,955,647	17	12,300,363
	温泉						
	買物						
触れ合う（交流する）	行・祭事	12	7,477,495	14	7,428,814	14	7,880,964
	イベント	24	14,967,916	22	11,538,634	22	12,996,629
計		85	58,678,043	85	53,172,572	84	56,170,347

◆ 調査対象観光地点の選定について

名古屋市では、平成8年3月に社団法人日本観光協会が刊行した『全国観光客数統計～観光統計の調査・集計方法の全国統一～（全国観光統計基準の提案）』の基準を参考に、調査対象観光地点を選定している。

参考：調査対象施設の基準

- ・原則として、年間入込客数が5万人以上かつ、市外の観光入込客数が2割以上見込まれる市内観光地点を対象とした。
- ・新規開業施設については、初年度から年間5万人以上の入込客が見込まれる場合には、初年度から調査対象とした。

【観光入込客 実人数の推計】

観光客調査により平均訪問観光地点数を設定し、算出した平成 19 年度の観光入込客実人数は約 3,304 万人であり、昨年度に比べ約 230 万人増加しました。

■ 観光入込客実人数の推移

	平成 17 年度	平成 18 年度	平成 19 年度
観光入込客延べ人数（人）	58,678,043	53,172,572	56,170,347
平均訪問観光地点数	1.67	1.73	1.70
観光入込客実人数（万人）	3,514 万人	3,074 万人	3,304 万人

宿泊施設調査により、宿泊客実人数を推計し、宿泊客調査と観光客調査により、居住地割合を設定し、名古屋市内・市外別の宿泊客・日帰り客実人数を推計しました。

■ 市内・市外別宿泊客数・日帰り客数の推計

	実人数計	居住地割合		観光入込客実人数		平成 18 年度 実人数計
		名古屋市内	名古屋市外	名古屋市内	名古屋市外	
観光入込客	3,304 万人	37.6%	62.4%	1,242 万人	2,062 万人	3,074 万人
宿泊客	485 万人	7.8%	92.2%	38 万人	447 万人	475 万人
日帰り客	2,819 万人	—	—	1,204 万人	1,615 万人	2,599 万人

【観光消費額の推計】

観光調査により、観光入込客の名古屋市内での消費額を設定し、観光総消費額を推計しました。平成 19 年度の名古屋市内の観光総消費額は、2,616 億円であり、昨年度に比べ 789 億円減少しました。

■ 観光総消費額の推計

	名古屋市内客	名古屋市外客	合 計	平成 18 年度計
宿泊客一人あたり消費額	20,273 円	22,221 円		
日帰り客一人あたり消費額	3,645 円	6,845 円		
宿泊客総消費額	77 億円	993 億円	1,070 億円	1,017 億円
日帰り客総消費額	439 億円	1,107 億円	1,546 億円	2,388 億円
名古屋市内観光総消費額	516 億円	2,100 億円	2,616 億円	3,405 億円

観光調査により、観光消費額の内訳を推計しました。各項目とも昨年度より減少しました。

■ 観光消費額の内訳

	名古屋市内客	名古屋市外客	合 計	平成 18 年度 計
食事費消費額	171 億円	683 億円	854 億円	1,094 億円
交通費消費額	61 億円	313 億円	374 億円	453 億円
土産費消費額	73 億円	458 億円	531 億円	641 億円
宿泊費消費額	43 億円	507 億円	550 億円	578 億円
その他消費額	168 億円	139 億円	307 億円	639 億円
観光総消費額	516 億円	2,100 億円	2,616 億円	3,405 億円

(2) 観光客・宿泊客の実態

① 観光地点入込客

名古屋城はじめ4観光施設において、秋・春それぞれ平日・土曜・日曜の計6回、及び名古屋まつりやイベント開催時に、調査員が対面聞き取りにより調査しました（合計3,757サンプル）。

■ 調査観光地点とサンプル数

施 設 名 称	秋期調査			春期調査			合 計
	平日	土曜	日曜	平日	土曜	日曜	
名古屋城	104	105	106	104	111	105	635
熱田神宮	104	105	105	104	110	110	638
ノリタケの森	101	107	100	104	105	105	622
イタリア村	104	105	105	105	107	104	630
名古屋まつり	608						608
イベント会場	(ペット博 i n 名古屋他) 322						624
(ポートメッセなごや)	(名古屋モーターショー) 302						
合 計							3,757

【観光地点別入込客の特性】

「名古屋城」において「東海地域以外」からの入込客の割合が多くなっています。一方、「名古屋まつり」や「熱田神宮」においては「名古屋市内」の割合が多くなっています。また、「名古屋まつり」や「名古屋城」において高齢層の割合が多く、「イタリア村」や「イベント会場」においては若年層の割合が多くなっています。

【観光入込客の遊覧状況】

主要観光施設への立ち寄り状況は、下記のようになっており、調査場所の近隣の観光施設に立ち寄っている割合が多いです。

■ 主な観光施設入込客の遊覧状況

(単位：%)

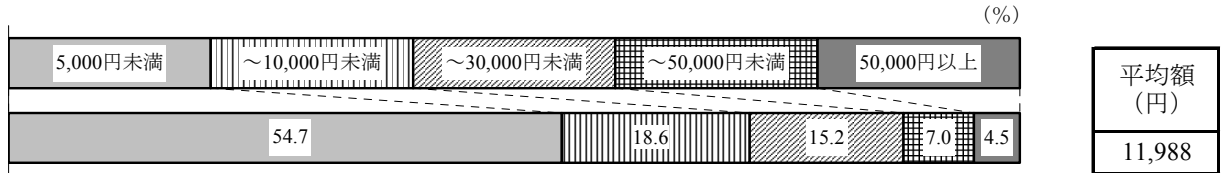
訪問施設 調査場所	名古屋城	熱田神宮	ノリタケの森	イタリア村	産業技術記念館	徳川美術館	徳川園	東山動植物園	テレビ塔	名古屋港水族館	その他	平均訪問施設数
名古屋城		9.9	4.7	5.8	1.9	6.9	4.7	3.1	9.6	6.6	32.0	1.85
熱田神宮	12.2		1.6	2.4	0.5	2.2	1.7	0.8	2.2	2.4	24.6	1.51
ノリタケの森	11.6	3.5		2.6	10.8	7.2	6.1	1.6	3.7	2.9	23.6	1.74
イタリア村	8.9	2.2	3.5		0.3	1.7	1.3	1.4	3.0	28.7	36.0	1.87
名古屋まつり	14.6	1.3	0.5	0.2	0.2	2.0	2.0	3.1	4.8	1.2	33.6	1.63
イベント会場	1.6	1.4	1.0	4.0	0.6	0.8	0.6	1.4	0.8	5.4	40.1	1.58

(複数回答)

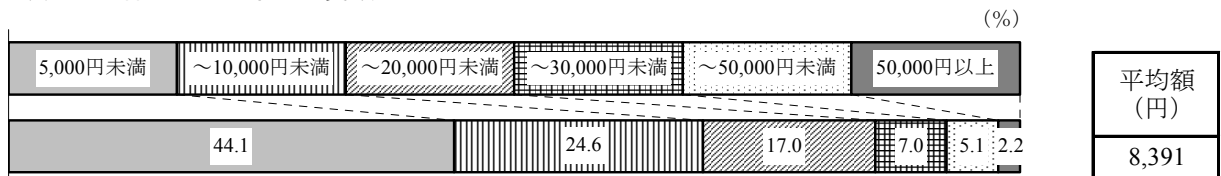
【観光入込客の旅行費用】

今回の旅行費用の平均額は、旅行予算は 11,988 円、名古屋市内での消費額は 8,391 円、市内交通費 1,160 円、土産代 1,724 円、食事代 2,809 円である。また、宿泊者の 1 泊の宿泊代は 11,340 円となっています。

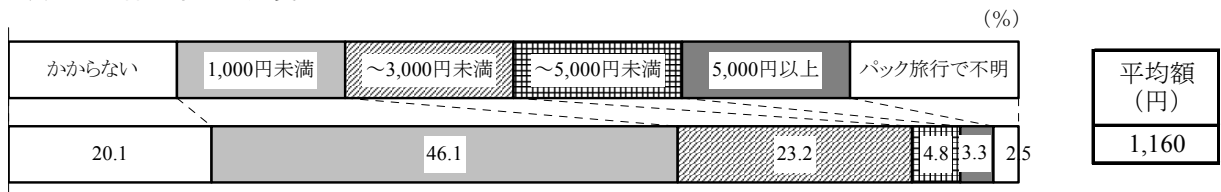
■ 観光入込客の旅行予算



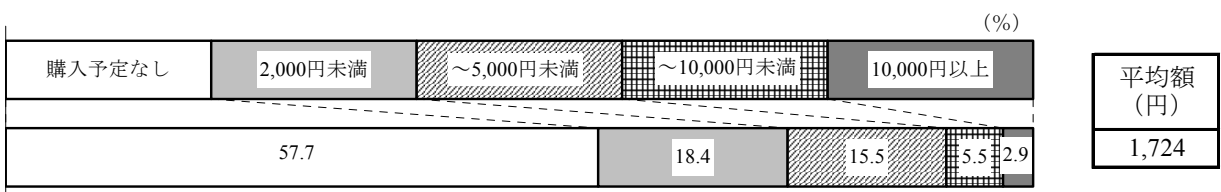
■ 観光入込客の名古屋市内消費額



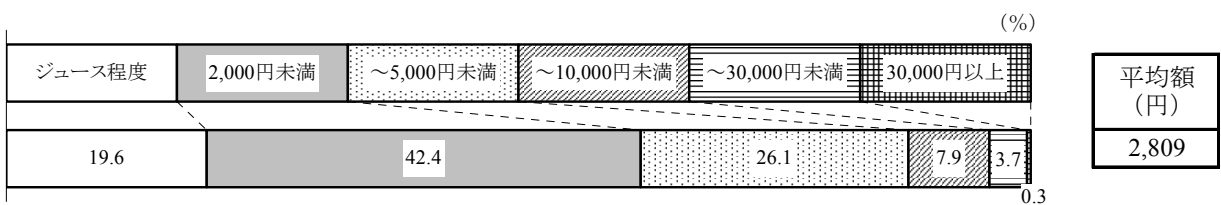
■ 観光入込客の市内交通費



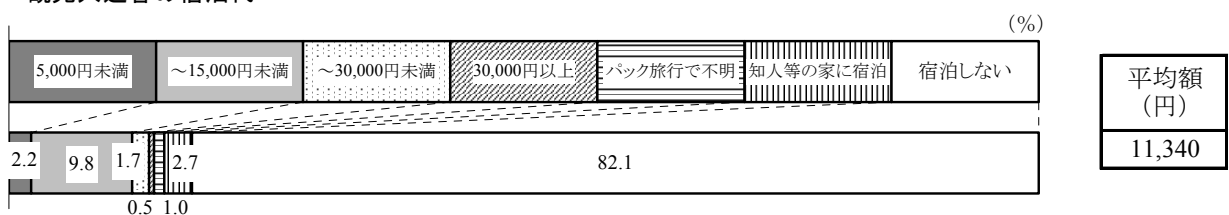
■ 観光入込客の市内での土産代



■ 観光入込客の市内での食事代



■ 観光入込客の宿泊代



③宿泊客

市内の20の宿泊施設の協力を得て、11月（調査期間1か月間）、宿泊客に対し、アンケート調査を実施しました（405サンプル）。

【宿泊客の属性】

「名古屋市内」と「愛知県（名古屋市を除く）」、「岐阜県・三重県・静岡県」を合わせた「東海地域」の割合は38.7%となっています。

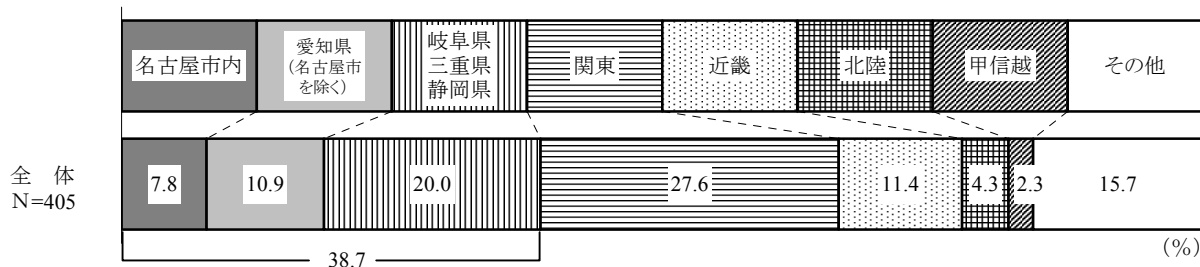
【旅行・訪問の目的】

「観光施設の見学」（19.8%）、「ショッピング」（9.9%）、「観劇・コンサート」（8.9%）などを合わせた「観光・娯楽」が54.4%、「商用・公用」が14.6%、「帰省・冠婚葬祭」が13.6%、「大会・学会」が8.7%となっています。

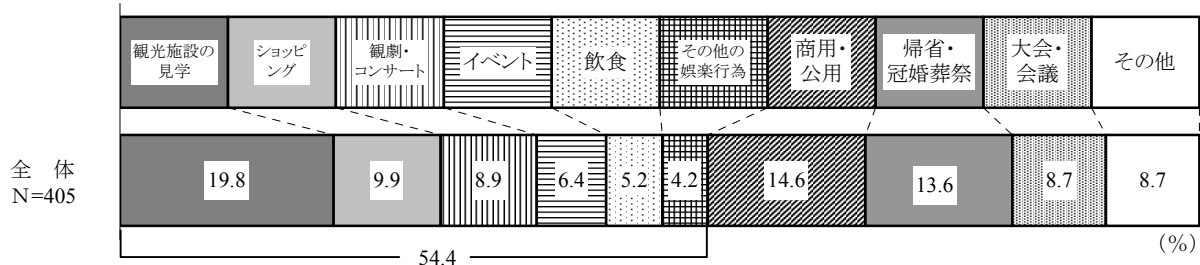
【宿泊客の訪問観光施設】

全宿泊客のうち観光施設等を訪問すると回答した人は304人（75.1%）でした。訪問する割合が高い観光施設は、「名古屋城」（28.9%）が最も高く、次いで「名古屋港水族館」、「イタリア村」、「テレビ塔」、「熱田神宮」となっています。

■居住地別、宿泊客数割合



■目的別、宿泊客数割合



■宿泊客の主な訪問観光施設

		(単位：%)											平均訪問施設数
訪問施設 地域	訪問施設	名古屋城	産業技術記念館	ノリタケの森	徳川美術館	徳川園	熱田神宮	東山動植物園	テレビ塔	名古屋港水族館	イタリア村	その他	
	東海	22.2	3.9	5.2	9.2	8.5	9.2	9.2	13.7	17.6	18.3	26.8	1.44
	東海以外	32.9	2.8	3.6	7.6	7.2	14.9	6.0	12.4	14.9	12.0	19.3	1.34
	全体	28.9	3.2	4.2	8.1	7.7	12.8	7.4	13.1	16.0	14.3	22.2	1.38

(複数回答)

(3) 宿泊施設の状況

市内宿泊施設に調査票を配布し、施設の概要ならびに宿泊者数を把握しました。市内の総宿泊客数は、回答施設の実績から未回答分を推計し算出しました。

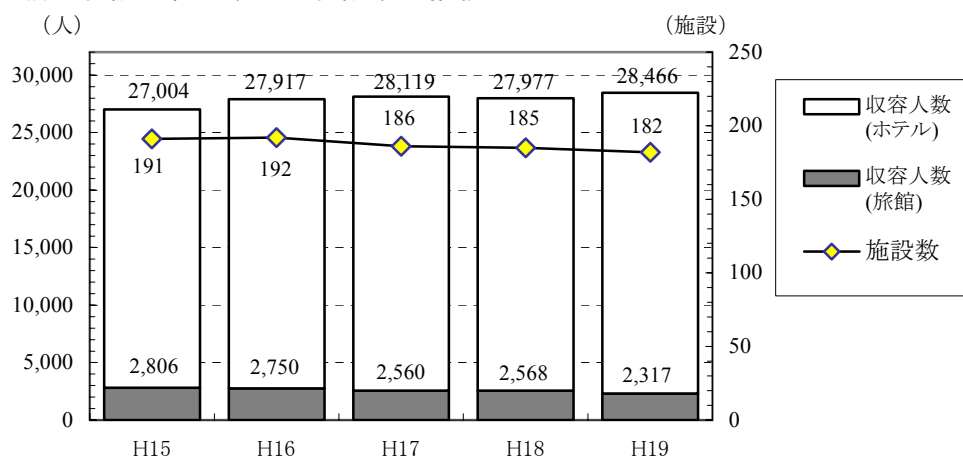
【宿泊施設数】

ホテル 128 施設、旅館 54 施設、合計 182 施設であり、昨年度に比べホテルは 3 施設増加し、旅館は 6 施設減少しました。一方、室数の合計は 20,690 室、収容人数の合計は 28,466 人であり、昨年度より部屋数は 466 室、収容人数は 489 人増加しました。

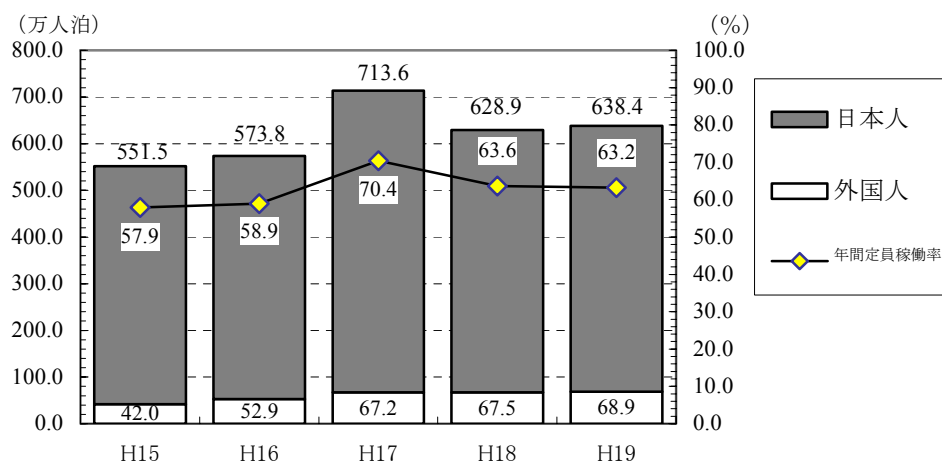
【年間宿泊者数】

年間宿泊者数は延べ数で約 638 万人泊、実人数で約 485 万人と推計されます。昨年度に比べ、延べ宿泊者数、実人数とも増加しています。また、外国人宿泊者数は、延べ 69 万人泊、実人数で約 38 万人と推計され、延べ・実人数とも昨年度より増加しています。

■ 市内宿泊施設収容人数及び施設数の推移



■ 施設延べ宿泊者数の推移



■ 推計年間宿泊者数及び年間定員稼働率の推移

年 度		平成 15 年度	平成 16 年度	平成 17 年度	平成 18 年度	平成 19 年度
区 分	推計総実人数 (人)	4,190,469	4,651,625	4,472,967	4,752,837	4,845,349
	うち外国人	244,861	333,857	272,539	286,704	378,730
推計総延べ宿泊者数 (人泊)	推計総延べ宿泊者数 (人泊)	5,514,738	5,738,330	7,135,833	6,288,947	6,384,202
	うち外国人	420,207	528,769	671,905	675,238	688,805
年間定員稼働率 (%)		57.9	58.9	70.4	63.6	63.2

注：年間定員稼働率とは、定員に占める宿泊者数の割合を示す。客室稼働率とは異なる。

年間定員稼働率＝年間延べ宿泊者数÷年間収容可能人数

(4) 全国からみた名古屋の観光

名古屋への訪問実績や訪問意向、観光に対する評価など名古屋の観光実態を把握するため、名古屋市を除く全国の18～69歳の男女個人を対象に、インターネットを用いて平成20年7月にアンケートを実施しました（1,000サンプル）。

【過去5年間の訪問状況】

過去5年間の名古屋への訪問経験率は44.4%であり、その目的は、「友人・親戚への訪問」、「観光施設の見学」、「仕事」が多いです。

観光等が目的で訪れた方の直近の訪問では、日程は「日帰り」、「宿泊」ほぼ半々で、きっかけは「以前から訪れたいと思っていた」、「興味のある催事が開催されていた」が多い。

【観光資源について】

名古屋の主要な観光資源のうち、愛・地球博でも話題になり、マスコミにもよくとりあげられている「なごやめし」が認知度、訪問・経験割合・意向、紹介意向すべてトップであり、次いで「尾張徳川家ゆかりの史跡や遺産」となっています。

■ 名古屋の主要観光資源について

（単位：％）

	史跡や遺産	熱田神宮	東山動植物園	名古屋港	栄	大須	なごやめし	一つもなし
認知度	63.4	56.2	45.6	32.3	37.7	18.0	77.2	5.0
5年間の訪問・経験	10.4	8.6	6.4	7.7	13.6	6.6	23.4	66.5
訪問・経験意向	42.7	27.8	23.9	25.3	18.2	11.6	58.7	10.2
知人への紹介意向	24.5	11.7	9.2	7.3	7.8	4.3	48.8	28.7

【名古屋に対する評価】

名古屋を訪れた方の満足度は下記のようにっており、満足度が最も高いのは「なごやめしなどの食事」に対してで、次いで「観光施設」に対してでした。総合的な魅力の評価は「満足」が49.5%、「不満」が7.3%と訪問者は名古屋への観光に対して良好な評価をしています。

一方、名古屋の観光地としての弱みは、「他の観光都市と比べて観光イメージが希薄である」としています。

■ 名古屋の観光に対する評価

（単位：％）

	観光施設	係員などの親切さ	市民の親切さ、親近感	おみやげ品	なごやめしなどの食事	案内表示等	総合的な魅力
満足 計	53.4	38.7	33.2	42.5	66.9	36.7	49.5
不満 計	7.3	6.4	8.3	10.7	9.2	11.9	7.3

【観光振興について】

平成19年7月から主要観光施設等を周遊する観光ルートバス「メーグル」の認知度は未だ5%程度ですが、利用意向は58.6%となっています。

名古屋城「本丸御殿」の復元の認知度は15.0%で、復元された場合は大半（86.0%）が訪れたいとしています。

(5) 主要観光施設の入込客数

■主要観光施設別入込客数の推移

(単位：人)

施設 \ 年度	平成 15 年度	平成 16 年度	平成 17 年度	平成 18 年度	平成 19 年度
名古屋城	925,250	994,994	1,984,187	1,096,137	1,196,500
東山動植物園	1,981,796	1,735,184	1,650,336	2,020,314	2,319,341
東山スカイタワー	253,450	231,048	224,951	259,886	289,767
テレビ塔	185,757	181,497	194,463	323,818	293,251
熱田神宮	6,535,998	6,465,460	6,547,860	6,235,956	6,512,112
名古屋港	213,817	203,434	202,177	195,639	643,632
名鉄海上観光船	43,524	36,939	34,133	25,117	-
名古屋空港	434,072	433,411	-	-	-
名古屋市科学館	624,325	615,425	486,104	614,577	618,956
徳川美術館	176,613	241,912	420,582	251,863	219,494
名古屋市博物館	478,858	448,195	568,581	363,271	538,476
東谷山フルーツパーク	572,313	511,899	459,031	547,717	568,804
農業文化園・戸田川緑地	681,265	658,225	642,757	712,288	691,262
でんきの科学館	523,940	492,856	333,893	348,158	353,727
名古屋市美術館	136,749	196,020	196,062	347,052	374,303
名古屋港水族館	1,733,279	1,759,536	1,663,186	1,927,274	2,116,681
産業技術記念館	156,277	150,921	303,312	230,618	263,854
白鳥庭園	90,989	79,848	76,196	82,966	91,713
市政資料館	65,228	59,274	67,749	59,240	60,143
名古屋能楽堂	141,141	127,470	135,297	163,455	186,408
愛知県美術館	824,938	629,283	1,222,438	761,088	803,967
名古屋市農業センター	727,864	713,839	669,831	622,769	612,259
シートレインランド	861,622	728,142	600,388	707,572	731,388
有松・鳴海絞会館	157,989	191,996	189,908	185,820	179,689
ランの館	126,562	133,473	117,999	128,193	131,262
名古屋ボストン美術館	246,609	242,916	209,599	237,245	175,661
パノラマハウス	454,248	391,754	309,246	-	-
ノリタケの森	496,929	421,515	533,830	410,558	413,566
ブルーボネット	161,875	117,892	95,941	93,831	77,968
徳川園	-	221,601	399,865	254,727	249,227
文化のみち二葉館	-	20,565	56,550	35,436	35,792
イタリア村	-	-	4,352,600	1,690,100	1,272,200
ロボットミュージアム	-	-	-	422,173	333,508
スカイプロムナード	-	-	-	160,000	630,000
万博ささしまサテライト事業	-	-	3,519,700	-	-
合 計	20,013,277	19,436,524	28,468,752	21,514,858	22,984,911

* 1：徳川園は平成 16 年 11 月、文化のみち二葉館は平成 17 年 2 月、イタリア村は平成 17 年 4 月、ロボットミュージアムは平成 18 年 10 月、スカイプロムナードは平成 19 年 3 月にそれぞれ開館した。

* 2：名古屋港は、ポートビル展望室、名古屋海洋博物館、南極観測船ふじの入場者の合計数。名古屋空港の展望デッキは平成 17 年 2 月、パノラマハウスは平成 17 年 10 月、名鉄海上観光船は平成 18 年 11 月、ロボットミュージアムは平成 19 年 9 月にそれぞれ閉館した。



- 注１：本文中で用いたテレビ塔、パノラマハウス、ブルーボネット、イタリア村、スカイプロムナードの正式名称は、それぞれ名古屋テレビ塔、JR セントラルタワーズパノラマハウス、名古屋港 ワイルドフラワーガーデンブルーボネット、名古屋港イタリア村、ミッドランドスクエア スカイプロムナードである。
- 注２：表、グラフに記してある居住地別のなどの数値にはその項目の「無回答」が除かれているため、その合計と全体の数値が一致しない場合がある。
- 注３：(4) 全国からみた名古屋の観光の調査実施は、平成 20 年度であるが、調査結果を参照するために掲載しています。

本書（概要版）および本編については、名古屋市ホームページ（www.city.nagoya.jp）に掲載しております。

名古屋市観光客・宿泊客動向調査

－概要版－

（平成 19 年度）

平成 20 年 10 月発行

発 行 名 古 屋 市 市 民 経 済 局
業務委託先 株 式 会 社 綜 研 名 古 屋
電 話 （ 0 5 2 ） 7 3 3 － 3 3 0 2